

1E ものづくり工作実習 課題プリント

課題1 以下の内容を余白を全て 20mm とし、標準の文字数で作成しなさい。
 フォントは MS 明朝、10.5pt とし、項目などは MS ゴシック、12pt とすること。
 図は伊藤研究室ホームページ (<http://akita-nct.jp/itok/>) からダウンロードすること (Visio ファイル)。

---以下、課題内容---

1E ものづくり工作実習課題レポート

学籍番号 ○○-○○ 名前 ○○ ○○

レポートの書き方の例

次のレポートのサンプルより、書き方の基本を学ぶ。

今回の実験では電圧と電流の測定によりオームの法則について検討した。真値が1 kΩの抵抗を測定した結果、図1の測定結果のグラフが得られた。グラフは直線となり、その傾きから抵抗値を求めたところ、980.0 Ωが得られた。これより、測定誤差を求めたところ誤差は20 Ω，誤差率2.0 %となった。

グラフは横軸が電流*I*、縦軸が電圧*V*であり、特性が直線になったことから、理論式(1)を満たしていることが分かる。

$$V = IR \quad (1)$$

次に、今回の測定方法における抵抗の計器誤差について検討する。電圧計、電流計の計器誤差率は最も悪い場合でもそれぞれ1.5 %、2.0 %であり、抵抗の計器誤差は両者の和の3.5 %となる。これより、今回の誤差率2.0 %はこの計器誤差の範囲に収まるため、測定結果としては妥当であるといえる。計器誤差の原因としては計器のばらつきが考えられる。

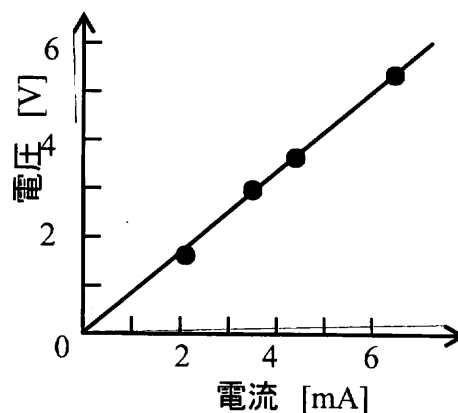


図1 電圧－電流特性

以上のレポートの例より次のことが分かります。

- 電圧や電流を記号で表す場合、記号は斜体になります。また、Ωなどのギリシャ文字は“オーム”と打ち込んでも変換できます。
- 単位にはkやμといった単位の接頭語をつけます。10³、10⁻⁶などとしても構いません。
- 数字の後に単位を書く場合は数字と単位の間スペースを入れます。
- 一般的に記号や数字は半角文字を使います。

---以上、課題内容---

課題2 テキスト p.70 を参考にして自分のクラスの時間割を作成すること。枠線を使って表になっていれどどのような形式でもよいのでバラエティに富んだ時間割を期待します。
 右上に学籍番号と名前を記入すること。

課題1、課題2ともにそれぞれ別のA4要用紙に印刷して、次回の授業日8:40までに提出すること。
 (提出先は伊藤研究室)